

津波復興拠点内の道路・交通広場の設計等の概要について

1 基本方針について

(1) 街づくりの目標・建築デザインコードの確認

1) 街づくりの目標

『賑わいと活力にあふれる、安全で魅力ある中心市街地を創る』

～ 大船渡駅周辺地区まちづくりグランドデザイン（案）より ～

2) 建築デザインコード

- ・『大船渡ナチュラルモダン』海と山の豊かな自然のある景観と親和性が高いナチュラルテイスト、「和」をベースに新しさを感じる「モダン」テイストを取り入れる。
- ・個性的なファザードが連なる街並み。

～ 大船渡地区津波復興拠点整備基本計画デザイン計画 デザインコード（案）より ～

(2) 道路の整備方針

1) 全体方針

- ・新たに建築される周辺建物を引き立たせることに配慮し、あまり主張しないシンプルかつニュートラルで飽きのこないデザインとする。
- ・宅地内への裏配線や大街区での一括受電により、津波復興拠点内の道路を無電柱化する。
- ・街路樹は、アメリカ大使館から寄贈される「ハナミズキ」を基本とし、震災時のアメリカからの救助救援を後世に伝える。

2) 茶屋前野々田線（メインストリート）

- ・津波復興拠点内を南北につなぐメインストリートとして歩車共存で来訪者が安心して歩きやすい賑わいのある通りとし、セミフラットの歩車道境界とする。

【駅前2号線側から南方向を見たときの「茶屋前野々田線のイメージパース」】

3) 交通広場

- ・快適な交通結節点として、JR、路線バス、タクシー、一般車両等の多様な交通利用者の快適性や利便性に配慮する。
- ・魅力的な大船渡市の玄関口として、多様な来訪者が訪れる魅力的な広場空間とする。

【JRから降りたときに見える「交通広場のイメージパース」】

2 今後の予定について

- ・平成27年10月 道路・交通広場の工事を再開
- ・平成28年2月 道路・交通広場の完成（プラザホテル完成に併せ供用）